

第 376 回 昭和の森自然観察会

『ドングリの秘密をしらべよう』

花島伸美（千葉市）

日時：2023年10月8日（日）10：00~12：00 天候：曇り

参加者：大人13名、子ども12名

担当指導員：白波、花島 管理事務所1名

昨年と同様にドングリをテーマに観察会を行い、担当の白波さんと話し合い『ドングリを通して、子ども達が主体的に見て遊んで楽しめる観察会』をテーマにした。

<見る>

・昭和の森にあるドングリの木6種類（クヌギ、コナラ、マテバシイ、カシワ、スダジイ、シラカシ）を観察するにあたり、ドングリを区分けできるカップを用意し、その6個のカップをまとめ紐で結んで首からぶら下げ、種類の違いを分かりやすくした。下記資料の文中のドングリの図を見ながらドングリの名前を当ててもらった。（写真1）



（写真1）

・クヌギシギゾウムシの成虫と幼虫をカップに入れて、写真で説明しながら、生きている虫を観察した。（写真2）



（写真2）

・ドングリの実生を手にとってドングリがどうやって木になるかを観察した。

<遊ぶ>

・マテバシイのドングリのストラップ作り、ドングリのけん玉作り。予め製作してあったストラップ付きのドングリやけん玉のカップに彩色した。（写真3）



（写真3）

・ドングリコロコロゲーム→紙箱に穴を空けておき、ドングリを転がし、穴に入ったら、次の人に渡すという方法でドングリコロコロ競争を2チームに分かれて行った。（写真4）



（写真4）

盛り沢山の内容で、時間配分も難しかったが、参加者の感想も『ドングリと言えばまとめてドングリと思っていたが、昭和の森でも6～7種類もあることがわかった』『クヌギシギゾウムシを初めて見たが、案外小さかった』『工作が楽しかった』『ゲームが盛り上がった』など多様な感想があり、嬉しかった。今回もプログラミングなど白波さんのお子さん（小4）の手伝いは有難かった。

まとめの時に、参加者の肩にスズメバチが止まり、長い間歩き回ったが刺激しないようにした。事務局にスズメバチトラップの数を増やしていただきたいとお願いした。この時期の観察会の安全対策が課題となった。

参考資料:『落ち葉でしらべよう どんぐりのいろいろ』松原巖樹 絵・文(小峰書店)